



拝島中学校だより

令和7年11月4日

第7号

昭島市立拝島中学校

【合唱コンクールを終えて】

校長 乙幡 英剛

先日、合唱コンクールが終わりました。

多くのクラスでは、練習の成果を発揮することができたのでは、ないでしょうか。この日の皆さんのお演奏が素晴らしかったことは、審査員や音楽科の先生の言葉からとてもよく分かりました。この日は、「いい合唱コンクールだったな」というよりも、開会式や閉会式での一言一言、吹奏楽部・合唱部・パートリーダーの演奏、進行のアナウンスを含めて、「なんていい一日だったんだろう」としみじみ思える内容であったと感じました。自分のセリフを直前まで確認しながら舞台に立つ人、演奏後にホッとして肩をたたきあう姿、他のクラスの発表を聞いた後や指揮者賞を受賞した友人を讃えようと思わず出る拍手。この爽やかさをどのように表せばいいのだろうと考えていたのですが、それは「一体感」であることに気付きました。学校全体が、ベストを尽くそうと一つになっていると言えば、いいのでしょうか。

この数週間、時には、課題がスムーズに解決できなかったり、思うようにクラスがまとまらなくて、困ったりしたことがあったかも知れません。そんな時に、人を責めたり、投げ出したりしても、何も解決しないことは、皆さんはとっくに分かっています。そこをクラスで乗り越えていくことが学習であり、行事の意味なのではないでしょうか。そこを乗り越えた時、互いの尊敬や感謝が信頼感になり、歌や拍手に表れていたのだと思います。

最近、驚いたり、感動したりすることが続けてありました。帰宅しようと駅に向かっていると「校長先生、こんばんは」と声をかけてくれる人がいます。「誰だろう?」と思うと3年生が、校外なのに、夕方で暗いのに、私を認識すると、まるでいつも廊下でする時のように、きちんと挨拶をしてくれています。また部活動の帰りでしょうか、数名の生徒が、「校長先生、気を付けて帰ってください」と道路の反対側から、わざわざ声をかけてくれる人たちがいました。なんという気遣いででしょうか。その声のかけ方がまた大げさでなくして、さりげないです。また、線路の高架下を、自転車を乗ったまま通り過ぎるのではなく、きちんと自転車を降りて、押して歩いている拝中生がいて「えらいですね」と近隣の方が、話してくださいました。「そういうこと、普通ではないですか。」と言う人がいるかも知れませんが、私はなかなか体験したことはありません。こういう風に、誰かが見ても、見ていなくても、行動(判断)できることを「自分の心の中に基準がある」があるといいます。集団の中で、自分の役割と責任を夢中で果たしていくこと、あるいは、個人で適切に判断し、行動できること。学校行事は、その関わり方を往復しながら、学ぶ場なのかも知れません。

これから的生活に期待しています。(「朝礼」 10/27)



【夢中で取り組んでいます(技術科)】

【おめでとうございます。】

【表紙絵コンクール】

【指揮者賞】 (1年生) (2年生)

(3年生)

【合唱】 (1年生) 金賞 銀賞 銅賞

(2年生) 金賞 銀賞 銅賞

(3年生) 金賞 銀賞 銅賞

【生徒の活躍】

【柔道部】第13回新人体重別選手権大会（多摩ブロック大会）

【陸上部】第58回青梅市陸上競技選手権大会

第76回はちおうじT&Fトライアル

【11月の予定】

1日（土）道徳授業地区公開講座・学校公開 新入生保護者説明会
学校運営協議会
5日（水）受験用写真撮影（3年）
10日（月）期末考查（～12日）
14日（金）復習テスト（3年）
23日（日）ESAT-J（3年）
※読書推進月間（10月25日～11月23日）



【原爆と人間展】

現在「原爆と人間展」が市内中学校を巡回し、「広島の原爆ドーム」や「よひかけ（峰三吉）」等が展示されています。お寄りの際には、是非ご覧ください（本校には、11月7日（金）まで）。



【ありがとうございました。】

合唱コンクールにおきましては、不順な天候にもかかわらず、720名を超える保護者の方に御来場頂きました。その際、各回の入れ替えや、雨の中、整然とお待ちいただくことにご協力いただき、ありがとうございました。現在、「保護者アンケート」を実施しています。ご感想やお気付きの点があれば、お寄せください。お待ちしています。